



[英語以外の外来語]

【バイト】 旋盤のバイトは加工材に噛み付くから英語の bite かと思いがちで、広辞苑にもそうかいてありますが、正しくはオランダ語 beitel から来ているらしい。たぶん江戸時代のことでしょう。ドイツ語でも Beitel は「のみの刃」です。

【ケレン】 砂型鑄造で中子支えのことをケレンといいます。日本語で「なんのけれんもなく」などというときのケレンは演劇用語「外連(けれん)」からきており、見たり、ごまかし、の意味です。鑄物のケレンはこれとは関係なく、ドイツ語 Kernstutze(中子支え)からきているようです。本来は stutze まで含めないという意味をなさないので、日本語ではなぜか省略されて Kern だけになっており、これでは単なる中子になってしまいます。英語では chaplet といい、元来は建築でつかう数珠形状の柱のことです。溶湯との接合をよくするためにそういう形にしたものと思われます。

【ビス】 英語かと思うと実はフランス語の vis だそうです。英語では screw という。ついでに英語の bolt の第一義は門(かんぬき)の鉄棒のことで、第二義が nut と組み合わせて使う締め付け部品、いわゆるボルトのことです。

【トースカン】 音を聞いただけでは日本語だか外国語だかわからない妙なコトバですが、広辞苑では台つき罫書具のことだが語源不明となっています。フランス語に trusquin 罫引というコトバがあるそうで、語源はこれかもしれません。